大成温調株式会社

証券コード:1904

2025 BUSINESS REPORT

第74期 報告書 2024.04.01≫2025.03.31

たてものを、いきものに

LIVZON

社会・課題解決に貢献する「総合たてものサービス企業」へ

大成温調株式会社
代表取締役 社長執行役員 水谷憲一

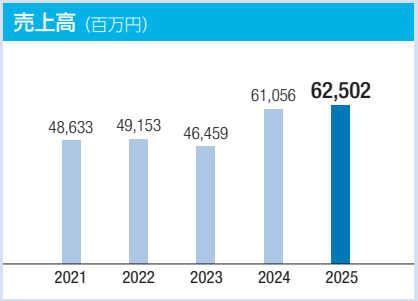
Q 当期の業績とその背景についてお聞かせください。

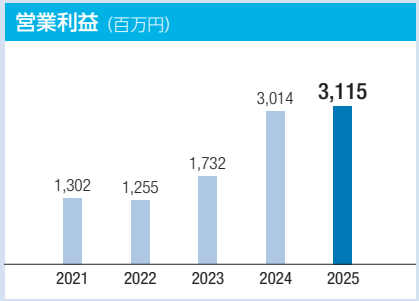
2025年3月期の業績は、資材・機材や労務費の高騰、人手不足の影響を受けつつも、国内の活況な建設需要を受けた受注の堅調な推移に加えて、生産性改善に向けた内部の取り組みが奏功し、単体・連結ともに増収増益を達成しました。売上高は前期比2.4％増の62,502百万円、営業利益が同3.3％増の3,115百万円、経常利益が同12.9％増の3,483百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が同26.7％増の2,487百万円となっています。

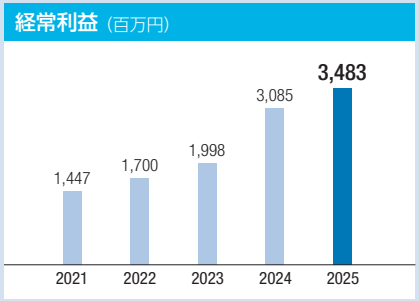
国内では前期同様、受注段階での採算管理の厳格化、高付加価値セグメントへの資源配分を進めた結果、商業施設や医療施設などの大型物件の受注増および利益率向上といった成果につながりました。また、国内連結子会社のウッドテックが予想より利益率が増加したことも後押し材料となりました。

一方で、建築費高騰や時間外労働の上限規制などに伴う工期の長期化、人員配置の難しさは依然として大きな課題であり、収益性と業務プロセスのさらなる改善に取り組んでまいります。

連結財務ハイライト







Q 中長期戦略の進捗について お聞かせください。

当社グループは2021年度に長期経営ビジョン「LIVZON DREAM 2030」を策定し、「専門設備工事会社」から「総合たてものサービス企業」への事業モデルの転換を進めています。「総合たてものサービス企業」とは、設備工事における当社の専門性を生かしながら、時代とともに多様化するニーズに幅広い付加価値を提供する企業を意味しています。

その前半戦に位置付けられる2026年3月期までの中期経営計画「LIVZON DREAM 2030 1st half!」も4年目が終了しました。「基盤事業の深耕」「成長への投資」「経営基盤の整備」の3つの基本方針のもと、アウトソーシングや工法の工夫などによる利益率・生産性向上、業務プロセスのデジタライゼーションに向けたシステム構築、従業員の活躍推進に向けた働き方改革や賃金引き上げなどを推進し、「1st half!」に掲げる経営指標(KPI)を、2025年3月期の時点で達成することができました。

「1st half!」は2026年3月期で終了し、後半戦となる「LIVZON DREAM 2030 2nd half!」では、「総合たてものサービス企業」への飛躍が目標となります。目指す姿を実現するためには、積極的な事業展開を通じた社会・環境課題解決が不可欠という考えから、2025年4月、サステナビリティの取り組みを統合した、「2nd half!」における重要な経営課題を特定しました。掲げる6つの項目をもとに具体的な目標・戦略に落とし込み、事業による価値創造を実現してまいります。

詳細はP3-4をご覧ください。

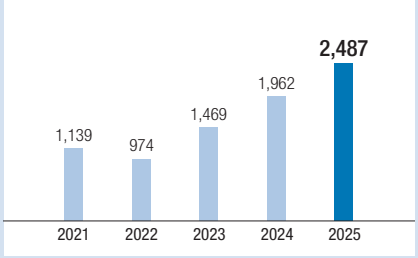
Q 株主還元および株主の皆さまにメッセージをお願いします。

当社では株式の流動性向上を目指した戦略的な株主還元を実施しており、2025年3月期の配当額(普通株式)は1株当たり132円となりました。2024年12月には株式の売出しも行い、株主数の増加や株主層の多様化が進んでいます。この状況に鑑み、株主還元策のさらなる強化とともに、株主層の多様化も踏まえた株主配当方針および株主優待制度の改定を行いました。株主配当方針はDOE(連結純資産配当率)を3.0%から3.8%目処への引き上げを、2026年3月期から実施します。

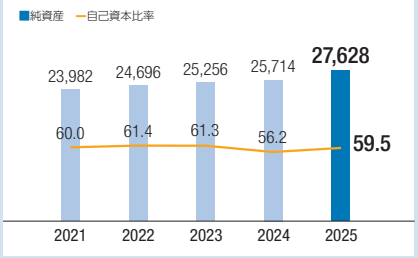
今後、「LIVZON DREAM 2030」の実現に向けては、課題が残されている一方で、課題解決の先には大きな飛躍のチャンスがあると、決意を新たにまい進していく所存です。株主の皆さまには、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

詳細はP7をご覧ください。

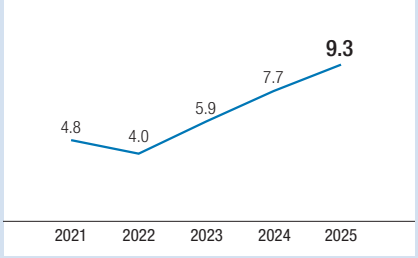
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



純資産 (百万円)／**自己資本比率** (%)



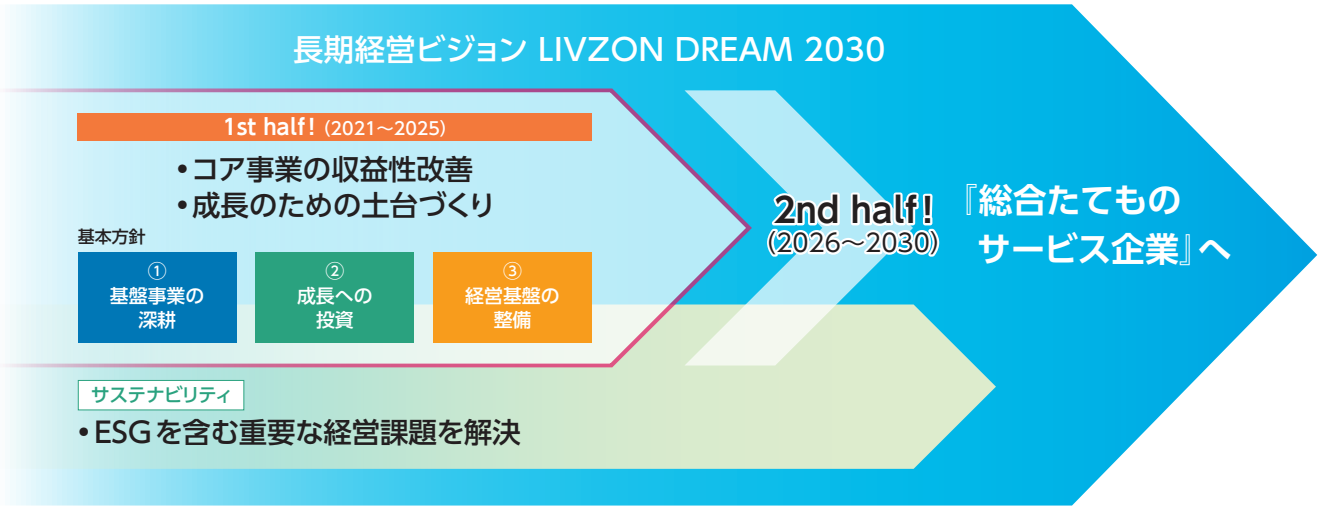
ROE (%)



中期経営計画「LIVZON DREAM 2030 1st half!」の位置付け

「LIVZON DREAM 2030 1st half!」は、長期経営ビジョン「LIVZON DREAM 2030」の前半戦と位置付け、コア事業の収益性改善と成長のための土台作りに注力するフェーズです。これにより、本業での利益拡大から得られる資金を活用し、目指す姿である「総合たてものサービス企業」への成長に向けた基盤を整えています。

また、目指す姿の実現に向け、中期経営計画の各取り組みに加え、新たなサステナビリティの取り組みを統合し、推進しています。



その結果、各基本方針に基づく戦略が着実に進み、経営指標(KPI)は2024年度中に全て達成することができました。

1st half! 重要な経営指標(KPI)の進捗

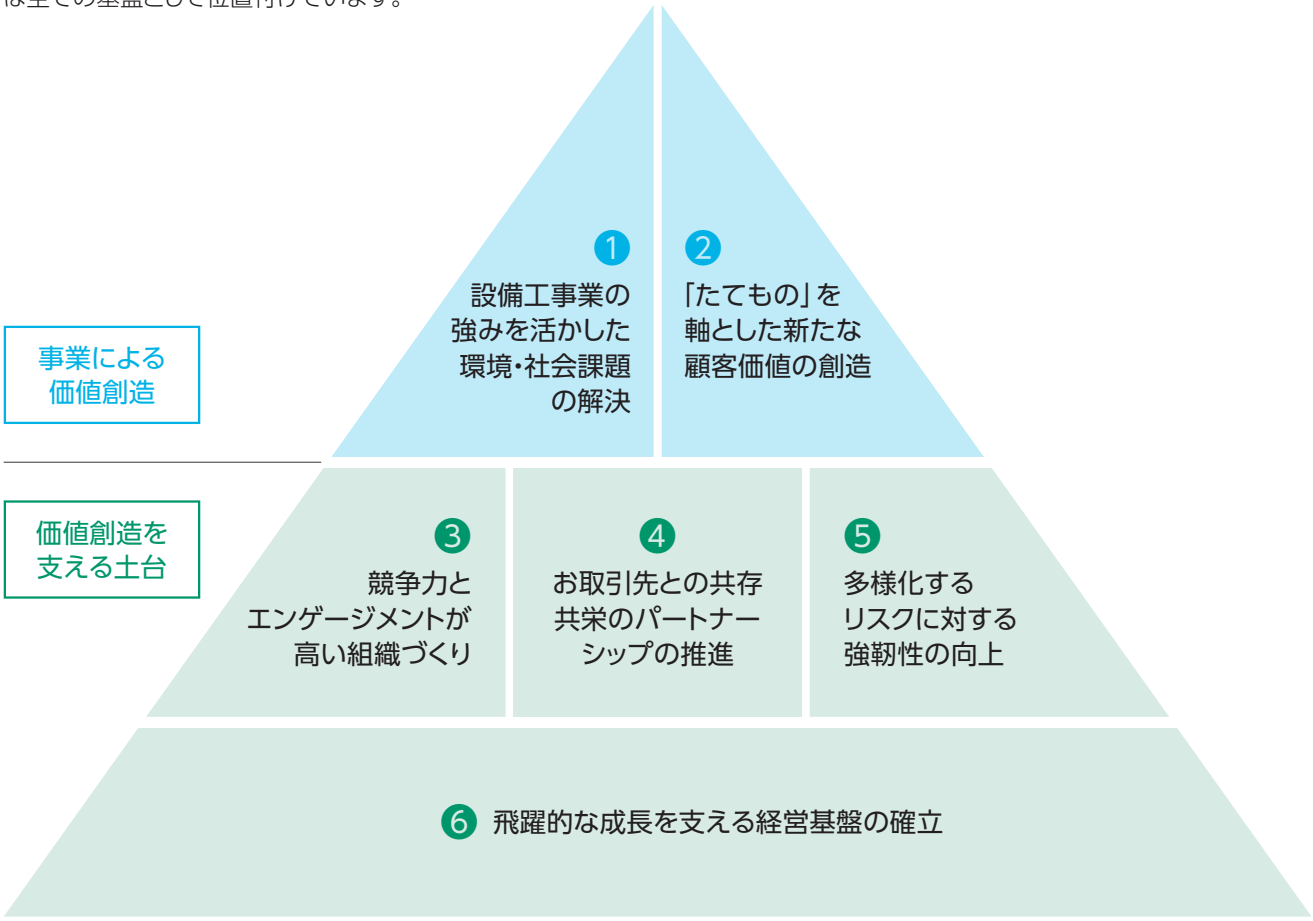
KPI	2021年度(実績)	2022年度(実績)	2023年度(実績)	2024年度(実績)	2021～2025年度(目標)
営業利益率	2.6%	3.7%	4.9%	5.0%	5.0%以上
ROE(自己資本当期純利益率)	4.0%	5.9%	7.7%	9.3%	8.0%以上
EPS(1株当たり当期純利益)	151.99円	246.01円	335.66円	408.47円	250円以上
DOE(連結純資産配当率)	2.0%	2.0%	3.0%	3.0%	2.5%+自社株買い

TOPIC 重要な経営課題を新たに特定

当社は長期経営ビジョン「LIVZON DREAM 2030」の実現のために、取り組むべき重要な経営課題を6つ特定いたしました。

新たに特定した重要な経営課題

6つの重要な経営課題のうち、「事業による価値創造①、②」が「価値創造を支える土台③～⑥」に支えられ、さらに⑥(ガバナンス)は全ての基盤として位置付けています。



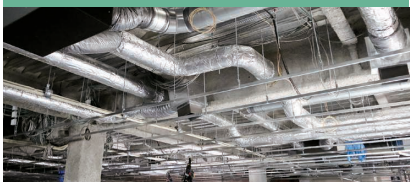
大成温調のビジネス

当社は、「総合たてものサービス企業」を目指し、長年培ってきた経験と技術力で多種多様な施設に携わっています。

主に「空調設備・換気設備」、「給排水衛生設備」、「電気設備」の工事を行い、企画から保守・メンテナンスに至るまで、長期的なサービスを提供しています。

事業内容

空調設備・換気設備



空調設備とは、建物内の温度、湿度、気流、清浄度などを調節する設備であり、換気設備とは、室内の空気を入れ替える設備のことです。

大勢の人が出入りする商業施設やいつでも清潔な病院など様々な場所で使われており、それぞれの空間に合った室内環境に保つことで、感染症の予防や、快適性・生産性を向上させる役割を果たします。

給排水衛生設備

給排水衛生設備とは、建物内で給水、給湯、排水を行う機能を持った設備のことです。

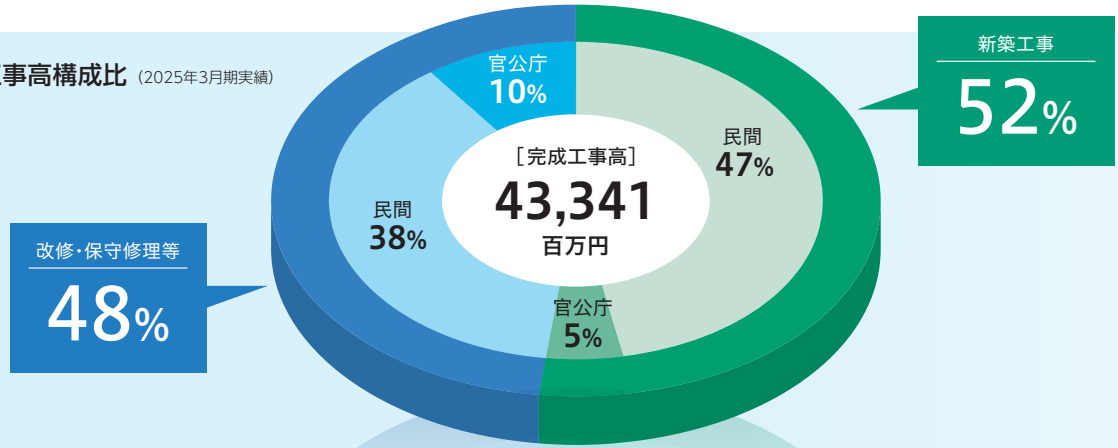
蛇口をひねれば飲める水が出る、トイレがつまらない、シャワーから温かいお湯が出るなど、日常生活において不可欠な水まわりの設備であり、適切に設置されることで、建物内を衛生的な環境に保つ役割を果たします。

電気設備

建築における電気設備とは、建物に設置されている照明やコンセント、防犯、消防などの機器や配線、制御盤などのことです。

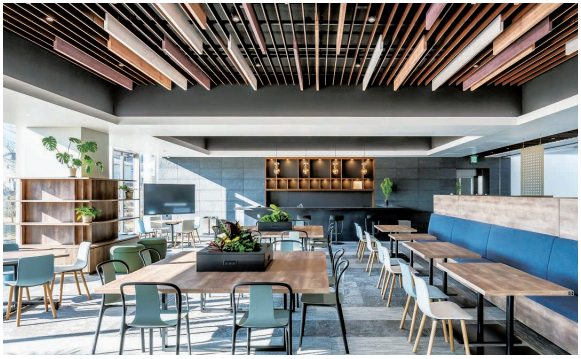
現代の暮らしでは、何をするにも電気が欠かせません。設備をしっかり整え、点検や修理をすることで、安全かつ安定的に電気を供給することができます。

完成工事高構成比 (2025年3月期実績)



LIVZON STORY

たてものを「イノベーションを生み出す」いきものに。佐藤工業の技術センター建設プロジェクト。



創業160周年を記念した一大プロジェクト

土木・建築を中心に新分野での事業開発も行う佐藤工業。2022年、創業160周年にあわせた記念事業の一環として、つくば市に新施設「技術センターSOU」を建設することになりました。イノベーションの創出、豊かな未来の創造、現場に寄り添う技術 ――様々な想いが詰まったこの建物の、空調衛生設備工事を大成温調が担当しました。

施設名	技術センターSOU
所在地	茨城県つくば市
施工年	2022年
工事区分	空調衛生設備工事

POINT "人"と"技術"を育てる環境づくり

「技術センターSOU」は、構造部材の載荷試験や環境実験などを行う「実験棟」と、音響に関わる多彩な実験を行う「音響実験棟」、そしてオフィスや研修室を有す「センター棟」の3棟とテストフィールドから成り立ちます。今回の新築プロジェクトの狙いには、生産性の向上だけでなく、現場業務の一部支援を通じて若手技術者の教育・育成を図るという意図もあり、未来を担う"人"と"技術"を育てる環境づくりのために、空調衛生設備の面から力になるべく検討が重ねられた結果、地中熱を利用して建物の温度を調整するという、他ではあまり行われないシステムを採用することになりました。

POINT 未来をより良くするための1ピース

通常、暑い時は勤務時間に空調機だけを使って室温を下げるものですが、このシステムを用いて夜間のうちに床のコンクリートに埋め込まれたパイプに冷水を循環させ、建物自体を冷やすことで、空調に必要なエネルギーを減らすことができます。また冬季も同様に、温水を通すことで建物を暖めることが可能になります。地中熱を利用するにあたっては、深さ100メートルまで挿入された16系統もの採熱配管を接続する作業が慎重に行われました。

そうした工夫の結果、トータル78%の一次エネルギー消費量を削減しました。一次エネルギーをトータル75%以上削減した建物が認証される「Nearly ZEB」を取得したほか、建築物省エネルギー性能表示制度「BELS(Building-Housing Energy-efficiency Labeling System)」では最高評価となる5つ星を取得し、その省エネ技術が高く評価されました。そして実際の運用では、なんと97.5%のエネルギー削減を達成しています。

このような技術が生み出される環境を全力でつくり上げ、その成果が未来の社会を支える一助となれるよう、これからも丁寧な施工を続けていきます。

コーポレートサイトにも様々な施工物件を紹介しています。

株主配当方針および株主優待制度の改定について

当社は、中長期的な成長へ向けた事業展開、経営基盤の強化等を図りながら、株主の皆さまへの長期的かつ安定的な利益還元を重要な経営課題と位置付けています。

この一環として、2026年3月期より株主還元策をさらに強化し、株主層の多様化にも対応するため、DOE（連結純資産配当率）※を従来の3.0%から3.8%を目処に引き上げることを決定するとともに株主優待制度の改定をいたしました。

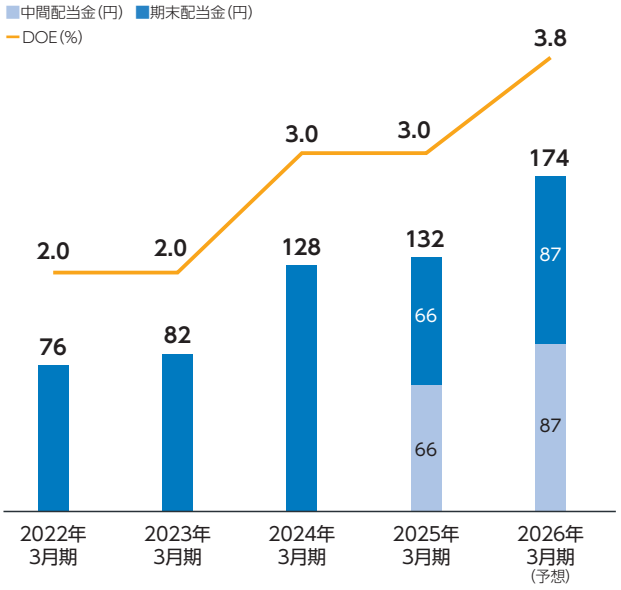
株主配当方針の改定

株主配当方針

DOE（連結純資産配当率）※ 3.8%を目処に配当を実施

※ DOE（連結純資産配当率）
＝1株当たり配当金／（（期首1株当たり連結純資産＋期末1株当たり連結純資産）／2）

配当とDOEの推移



株主優待制度の改定

上記株主配当方針の見直しを踏まえ、優待についても以下のように変更いたします。

	変更前	変更後（2026年3月期以降）
配布時期	中間、期末	中間、期末
300～499株	クオカード16,000円（8,000円×年2回）	クオカード8,000円（4,000円×年2回）
500～899株	クオカード30,000円（15,000円×年2回）	クオカード15,000円（7,500円×年2回）
900株以上	クオカード60,000円（30,000円×年2回）	クオカード30,000円（15,000円×年2回）

実施開始時期

2025年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主さまから変更を実施いたします。

株主アンケート結果のご紹介

2024年3月期「BUSINESS REPORT」のアンケートにおいて、株主さまにご回答いただき、貴重なご意見をいただきました。ご回答いただきました株主さまには、心より御礼申し上げます。お寄せいただきましたご質問とアンケート結果の一部をご紹介します。

Q IR活動への取り組みを教えてください

A 2025年2月に、ラジオNIKKEI&PRONEXUS共催の「企業IR&個人投資家応援イベント」へ参加し当社代表の水谷が、投資家の方々へ向けて当社の事業概要や成長戦略についてお話いたしました。

今後も株主や投資家の皆さまと直接かつ双方向でコミュニケーションを取れる場を設けてまいります。

https://www.taisei-oncho.co.jp/ir/files/2025/02.14.25.pdf

Q 中計でも掲げている人財の確保に向けた取り組みを教えてください

A 当社は、社員一人ひとりの健康が経営の基盤になるという考えのもと、働きやすい環境づくりと健康保持・増進に向けた様々な取り組みを進めています。2024年8月には「健康経営宣言」を制定し、以下の3つを重点施策として掲げ、取り組みを推進しています。

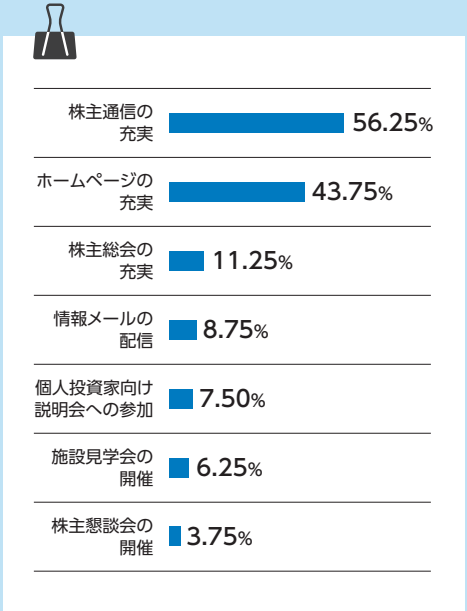
1 健康的な職場環境づくり
2 ヘルスリテラシーの向上
3 ワークライフバランスの推進

こうした取り組みが評価され、2025年3月には、「健康経営優良法人2025(大規模法人部門)」に認定されました。

2025 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 大規模法人部門

アンケート結果

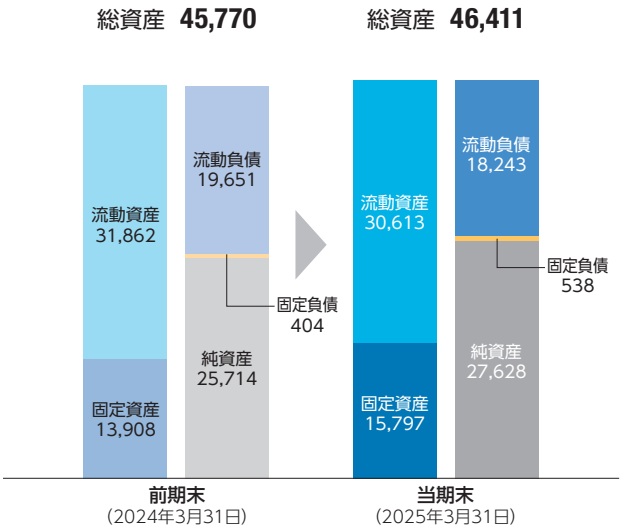
当社に望むIR活動について教えてください(複数回答可)



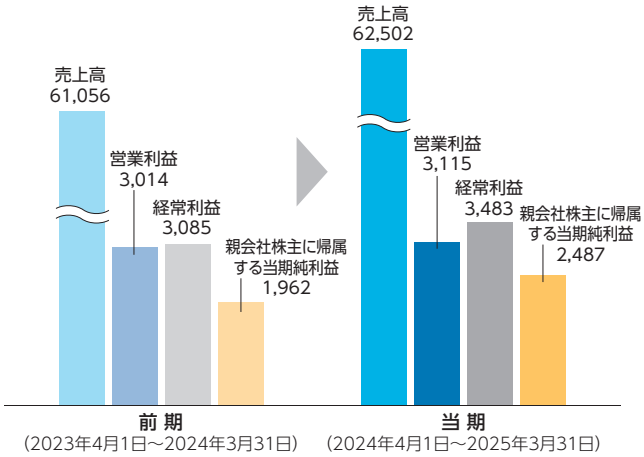
本誌およびホームページでの情報提供をより充実してほしいとのご意見を多くいただいたほか、積極的なIR活動を望む声もいただきました。

今後も株主の皆さまとのコミュニケーションを通じて、当社のIR活動の充実を図ってまいります。

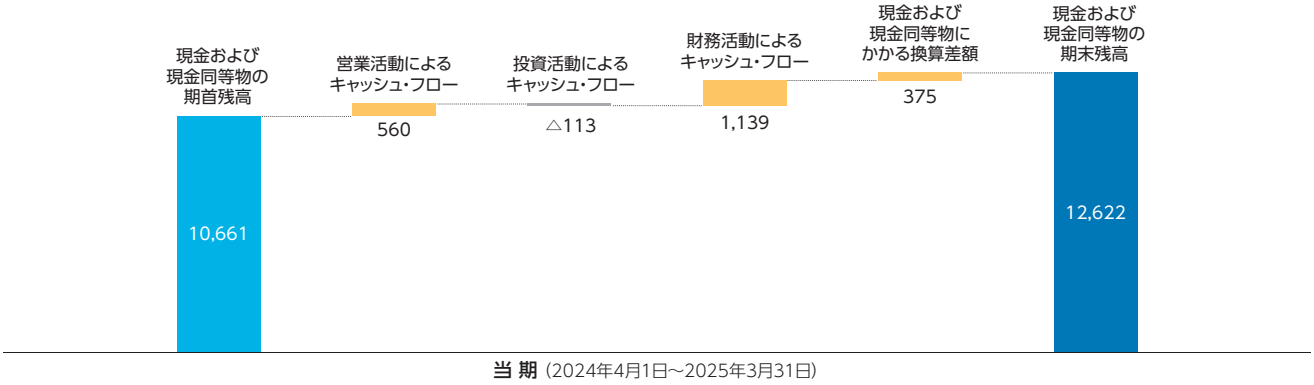
連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



会社概要 (2025年3月31日現在)

商号	大成温調株式会社
本社	〒140-8515 東京都品川区大井一丁目49番10号
創業	1941年(昭和16年)4月3日
設立	1952年(昭和27年)12月22日
資本金	51億9,505万7,500円
従業員の状況	581名

役員 (2025年6月24日現在)

代表取締役 社長執行役員	水谷 憲一
取締役 副社長執行役員	志田 憲彦
取締役 専務執行役員	玉置 雅幸
取締役 専務執行役員	川上 徹
取締役 常務執行役員	岡田 浩二
取締役 常務執行役員	冨岡 幸光
社外取締役	大江 太人
取締役 監査等委員	今井 康之
社外取締役 監査等委員	松下 香織
社外取締役 監査等委員	村木 高志
社外取締役 監査等委員	榎本 幸子

ネットワーク (2025年4月1日現在)

本社・支店	8ヵ所
営業所	20ヵ所
サービスステーション(SS)	13ヵ所

株式の状況 (2025年3月31日現在)

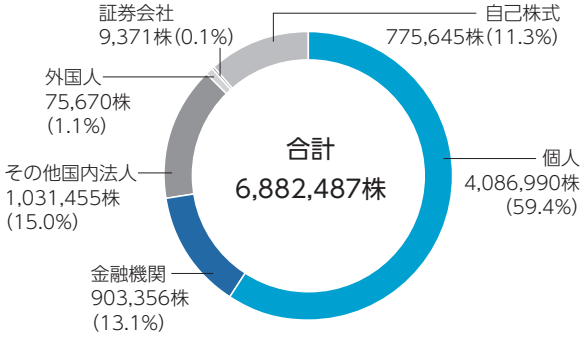
発行可能株式総数	27,500,000株
発行済株式の総数	6,882,487株
株主数	6,842名

大株主の状況 (上位11名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
アクアウェッジ株式会社	993	16.3
大成温調取引先持株会	508	8.3
一般財団法人大成温調奨学財団	334	5.5
大成温調従業員持株会	157	2.6
水谷日出夫	111	1.8
河村和平	89	1.5
東テク株式会社	70	1.2
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	60	1.0
河村昌平	59	1.0
和田ふみ子	50	0.8
株式会社オーテック	50	0.8

(注) 上記のほかに自己株式(775,645株)を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



IRサイトのご案内

株主・投資家の皆さまに向けて情報を開示しています。ぜひご覧ください。

大成温調　IRサイト　検索

統合報告書2024発行のお知らせ

当社のビジネスモデルや業績推移に加え、中長期的な経営戦略とサステナビリティへの様々な取り組みなど幅広くご紹介しています。

大成温調　統合報告書　検索

株主アンケートご協力のお願い

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

ネットでアンケート
Provided by TAKARA Printing

株主の皆さまからのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただくため、WEBアンケートを実施いたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから**2025年8月31日(日)まで**になります。

アクセス方法

パソコンから

下記のURLからアクセスいただけます。
https://q.srdb.jp/

スマートフォン・携帯電話から

QRコード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからアンケート画面へアクセスいただけます。※携帯電話の機種により、使用できない場合もございます。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日 定時株主総会・期末配当 中間配当	 3月31日 9月30日
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵送物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先)　0120-782-031 https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告方法	電子公告の方法により、当社ウェブサイトに掲載して行います。 ただし電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

※その他ご不明な点は、上記の三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

大成温調株式会社

本社　〒140-8515 東京都品川区大井1-49-10
TEL：03-5742-7301(代)
https://www.taisei-oncho.co.jp

VEGETABLE OIL INK

FSC ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C022915 www.fsc.org

UD FONT